

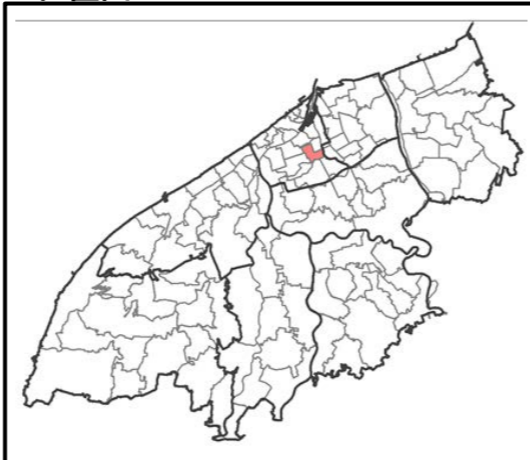
紫竹山小学校区

様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

鏡西1・2丁目		
紫竹山1～7丁目		
米山3～6丁目		

●位置図



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ][ツ]紫竹山小学校	0.8	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]北越高等学校(体育館)	0.3	2	○	—	2階以上	—
[ヒ][ツ]駅南コミュニティセンター	0.1	3	○	3階以上	2階以上	—

●施設・団体

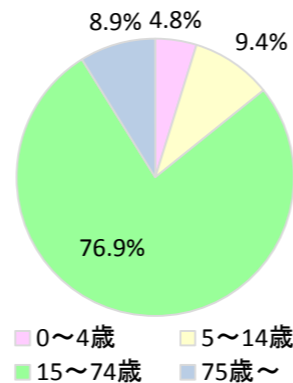
市役所・区役所等	—
警察・消防	中央消防署 駅南出張所
消防団	中央方面隊 鳥屋野分団
水防倉庫	—
一時避難場所	—
広域避難場所	—
主 利な 用要 施設 配 慮者	幼稚園・ 保育園 真人幼稚園／紫竹山保育園 高齢者 福祉施設 有隣 障がい者 福祉施設 ピースフル、ドリーム2001

●地区外の避難所・津波避難ビルなど

施設名 [ヒ]:避難所、[ツ]:津波避難ビル・場所	標高 (m)	階数	避難可否			
			地震	津波	洪水	土砂災害
[ヒ][ツ]南万代小学校	1.1	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]総合福祉会館	0.9	5	○	4階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]上所小学校	0.8	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]新潟南高等学校	1.8	4	○	—	2階以上	—
[ヒ][ツ]女池小学校	0.2	3	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ]桜が丘小学校	0.4	4	○	—	2階以上	—
[ヒ][ツ]高志中等教育学校	0.8	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]江南小学校	0.8	4	○	3階以上	2階以上	—
[ヒ][ツ]笹口小学校	-0.1	4	○	3階以上	2階以上	—
[ツ]パークサイドハイツ	-0.1	3	—	3階	—	—

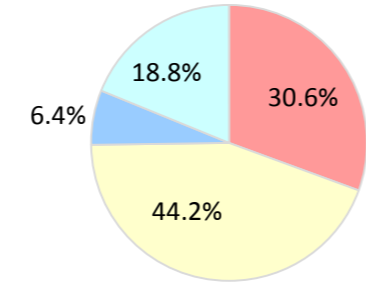
●人口

年齢区分	総人口	地区の割合	市の割合
0～4歳	457人	4.8%	4.0%
5～14歳	894人	9.4%	8.5%
15～74歳	7,309人	76.9%	74.6%
75歳～	842人	8.9%	12.9%
65歳以上人口	1,686人	17.7%	26.0%
世帯数	4,456世帯		
一世帯あたり人口	2.1人／世帯		2.5人／世帯
人口密度	5,991人／km <sup>2</sup>		1,108人／km <sup>2</sup>
昼間人口	16,132人	夜間の169.8%	



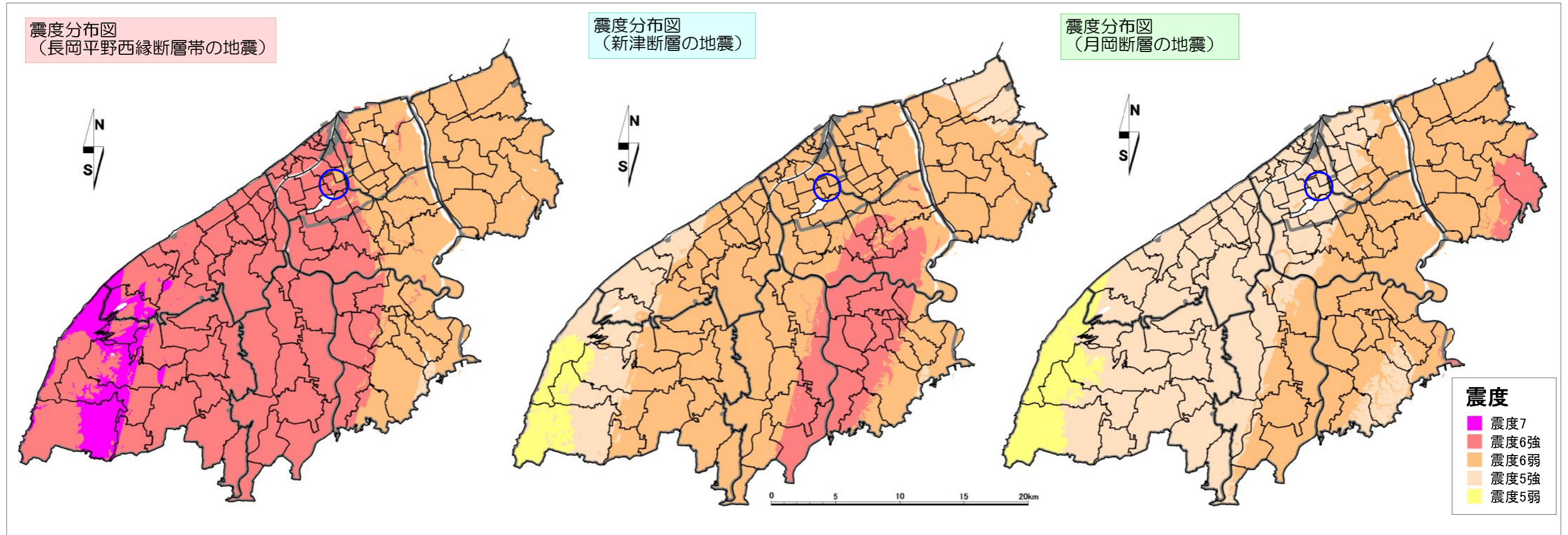
●建物関連指標

建築年代	総棟数	地区の割合	市の割合
S55年以前建築	763棟	30.6%	44.2%
S56年以降建築	1,102棟	44.2%	46.7%
計	1,865棟	74.8%	90.9%
S55年以前建築	160棟	6.4%	3.4%
S56年以降建築	469棟	18.8%	5.7%
計	629棟	25.2%	9.1%
S56年以降建築物	1,571棟	63.0%	52.4%



●災害危険性の評価

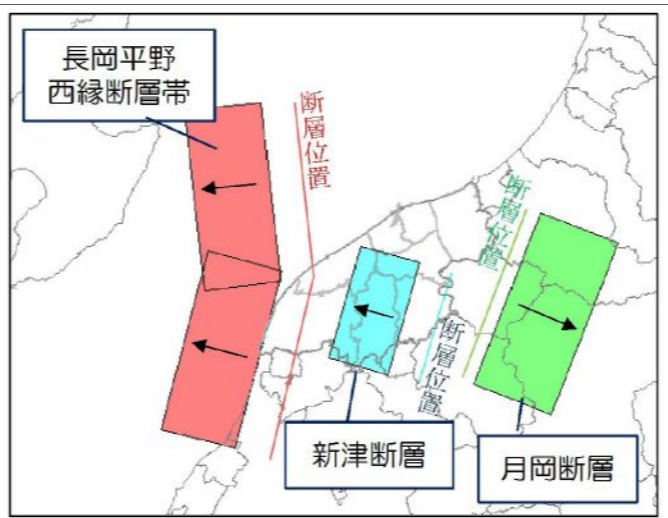
地震・津波	地区の大部分が軟らかい地盤の上に分布するため、大きい地震の時には、強い揺れや液状化の可能性はある。津波による浸水は、地区全域で想定されている。
水害・土砂	阿賀野川の洪水、信濃川下流の洪水及び鳥屋野湯流域の洪水によって、浸水の可能性がある。特に、信濃川下流の洪水では、地区の大部分で浸水が予想される。



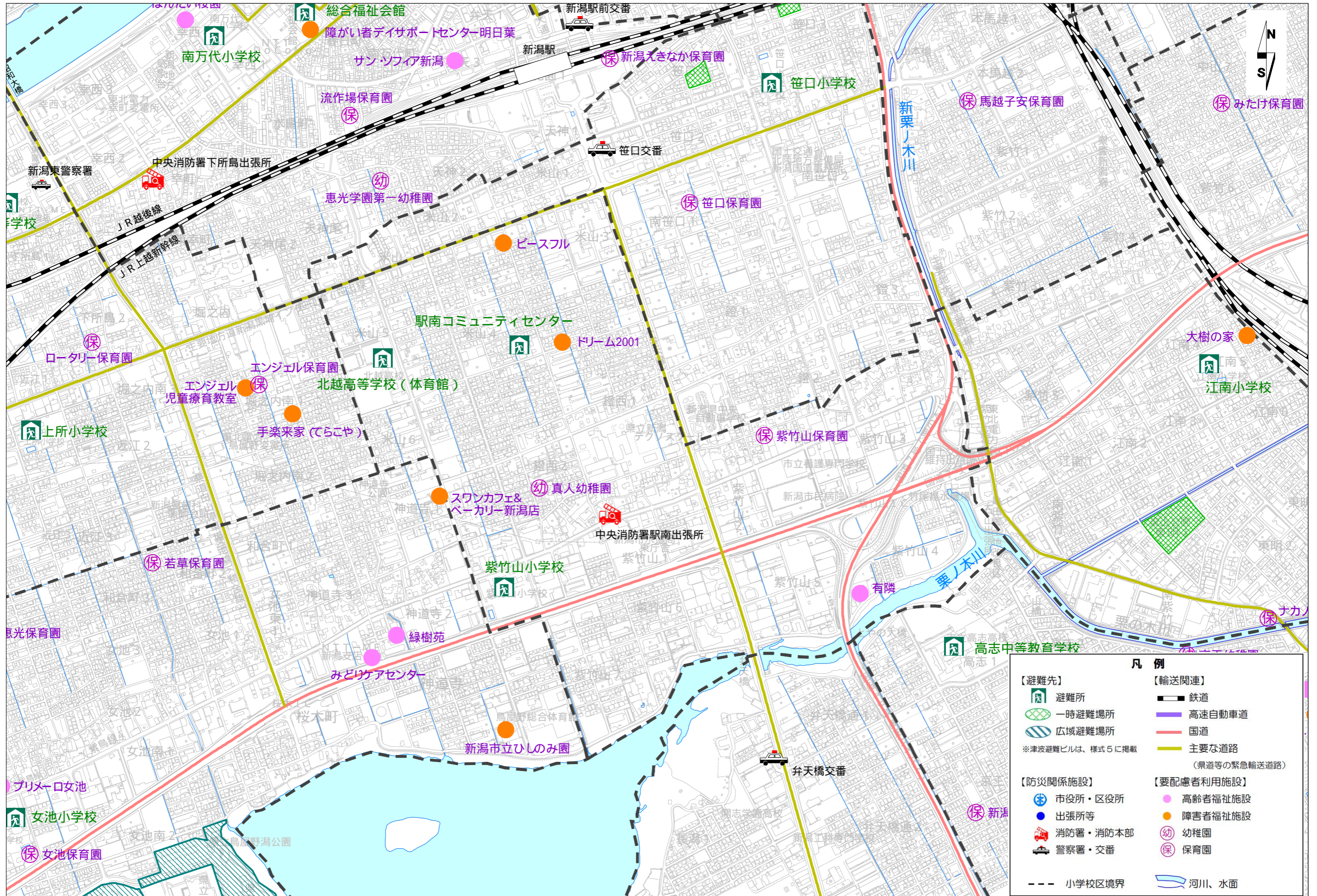
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年  断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。  月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上  断層の活動性 0.4m/千年程度

※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。  
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】  
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

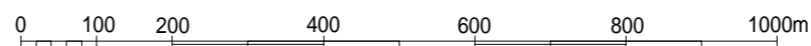
<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>  
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

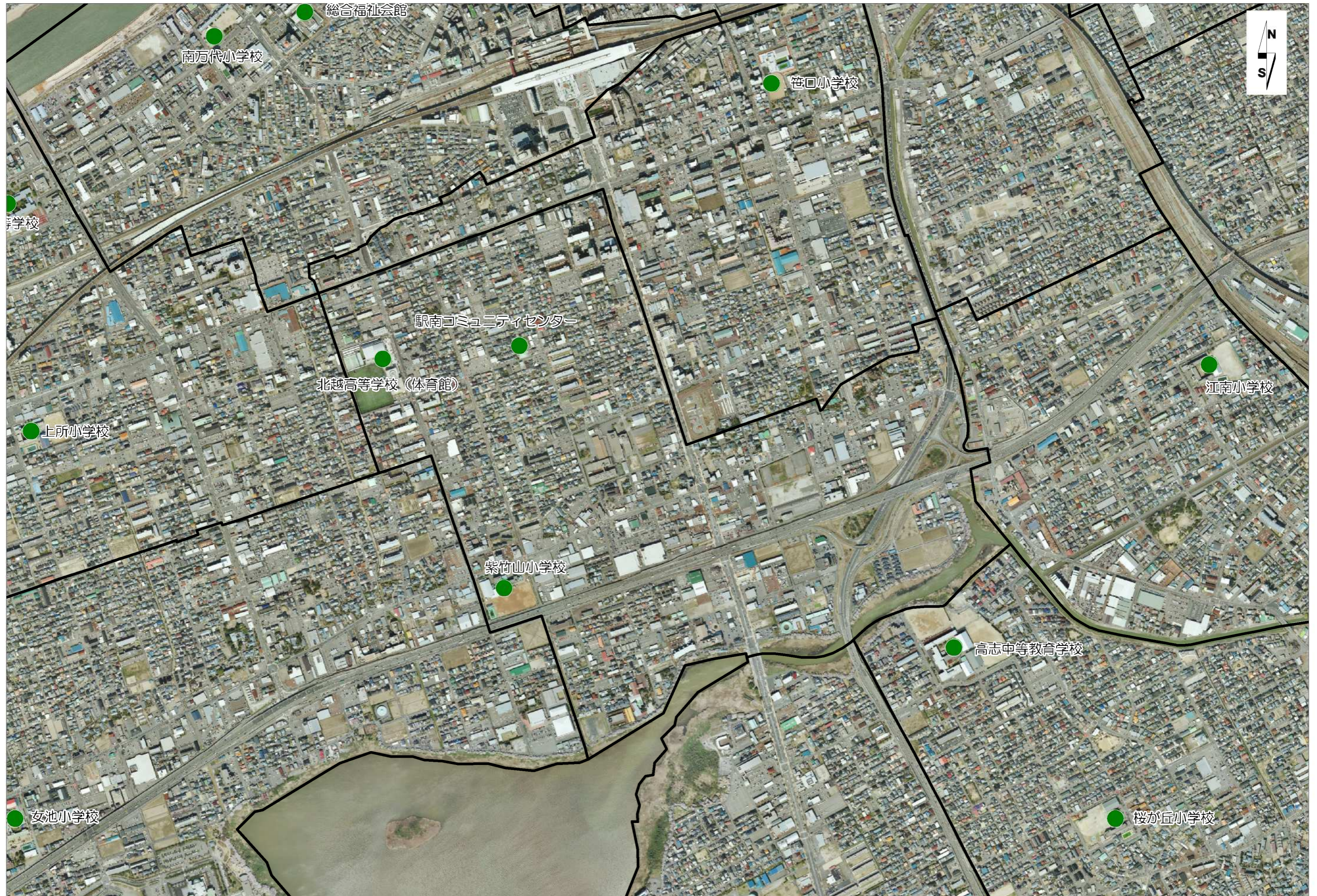


← は、断層の傾きを示しています。



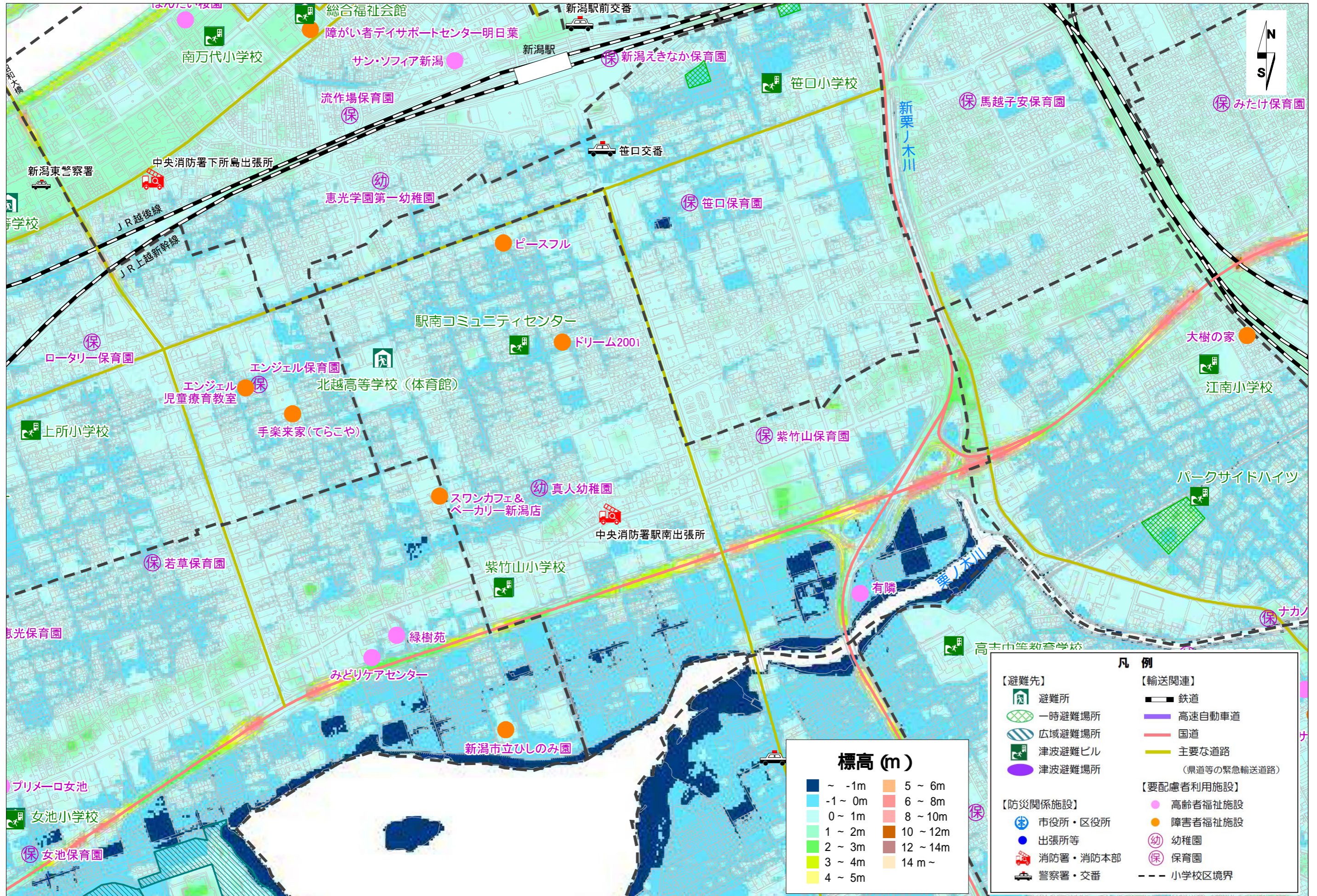
[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)





様式5 標高分布図

紫竹山小学校区



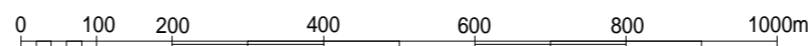
**標高 (m)**

~ -1m	5 ~ 6m
-1 ~ 0m	6 ~ 8m
0 ~ 1m	8 ~ 10m
1 ~ 2m	10 ~ 12m
2 ~ 3m	12 ~ 14m
3 ~ 4m	14 m ~
4 ~ 5m	

**凡例**

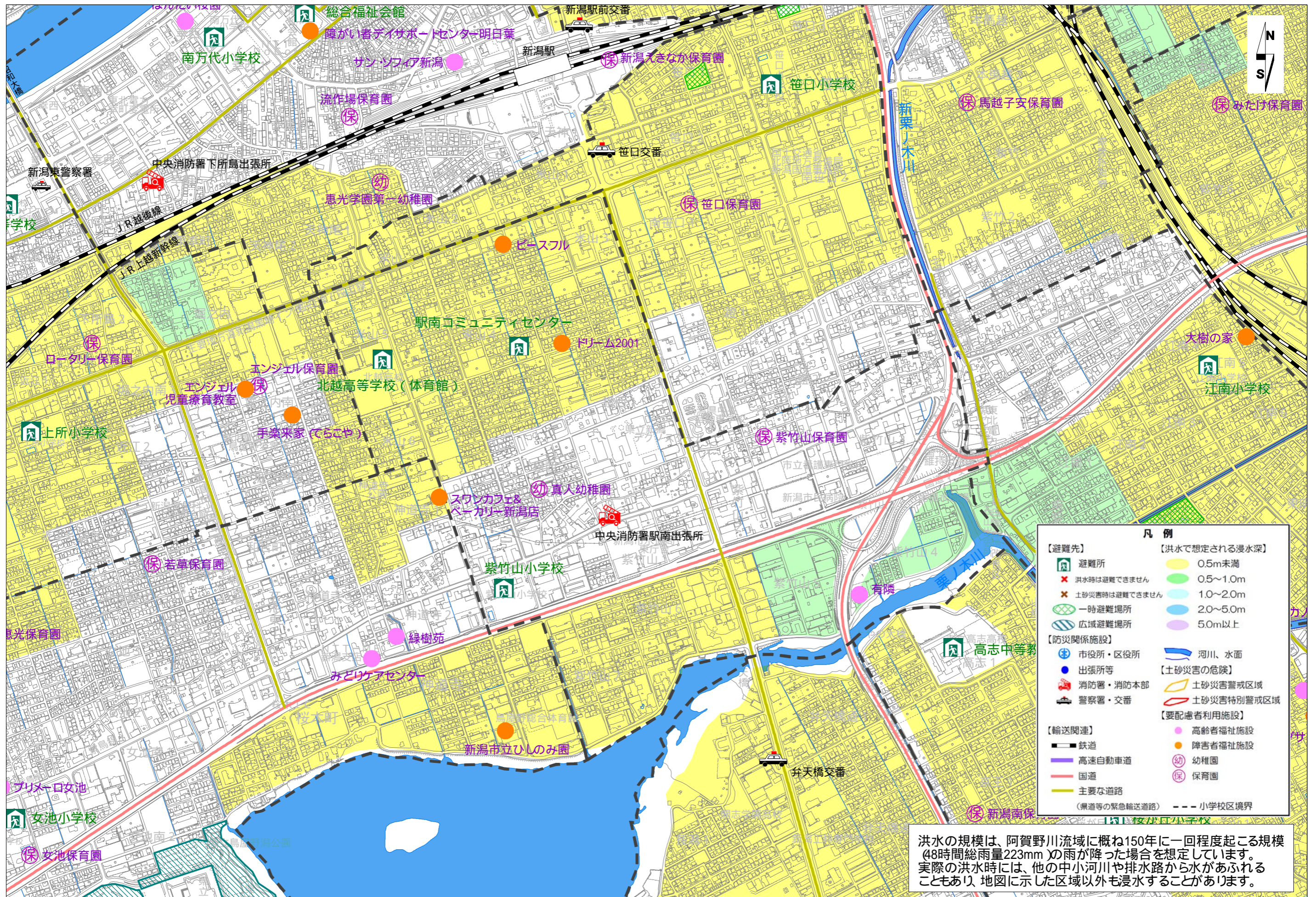
<b>【避難先】</b>	<b>【輸送関連】</b>
避難所	鉄道
一時避難場所	高速自動車道
広域避難場所	国道
津波避難ビル	主要な道路 (県道等の緊急輸送道路)
津波避難場所	
<b>【防災関係施設】</b>	<b>【要配慮者利用施設】</b>
市役所・区役所	高齢者福祉施設
出張所等	障害者福祉施設
消防署・消防本部	幼稚園
警察署・交番	保育園
	--- 小学校区境界

[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図 (平成20年, 平成25年, 平成26年)  
5mメッシュDEM (国土地理院, 平成25年)



様式6-1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（阿賀野川）

紫竹山小学校区

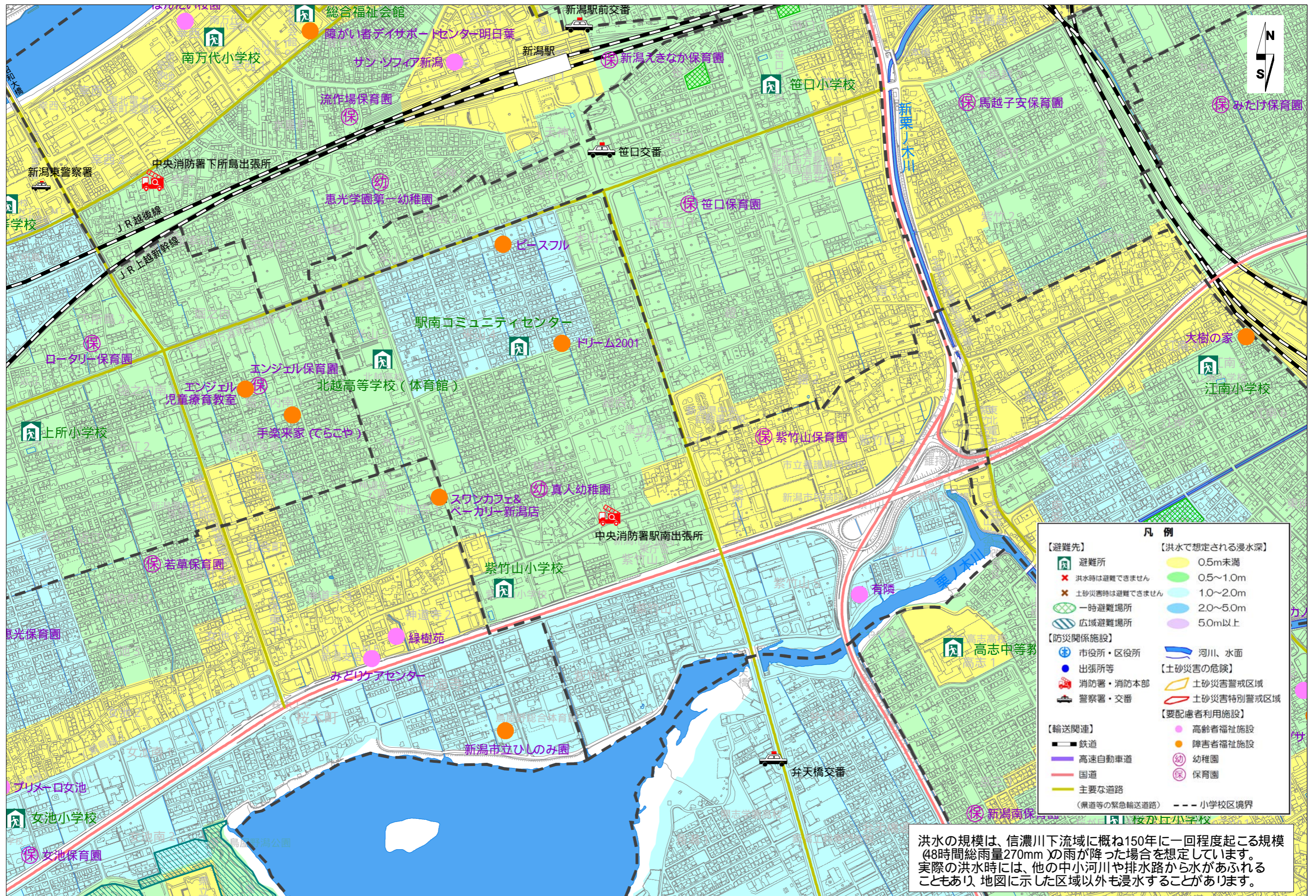


【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
阿賀野川浸水想定区域(国土交通省,平成14年1月31日)



様式6-2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

紫竹山小学校区

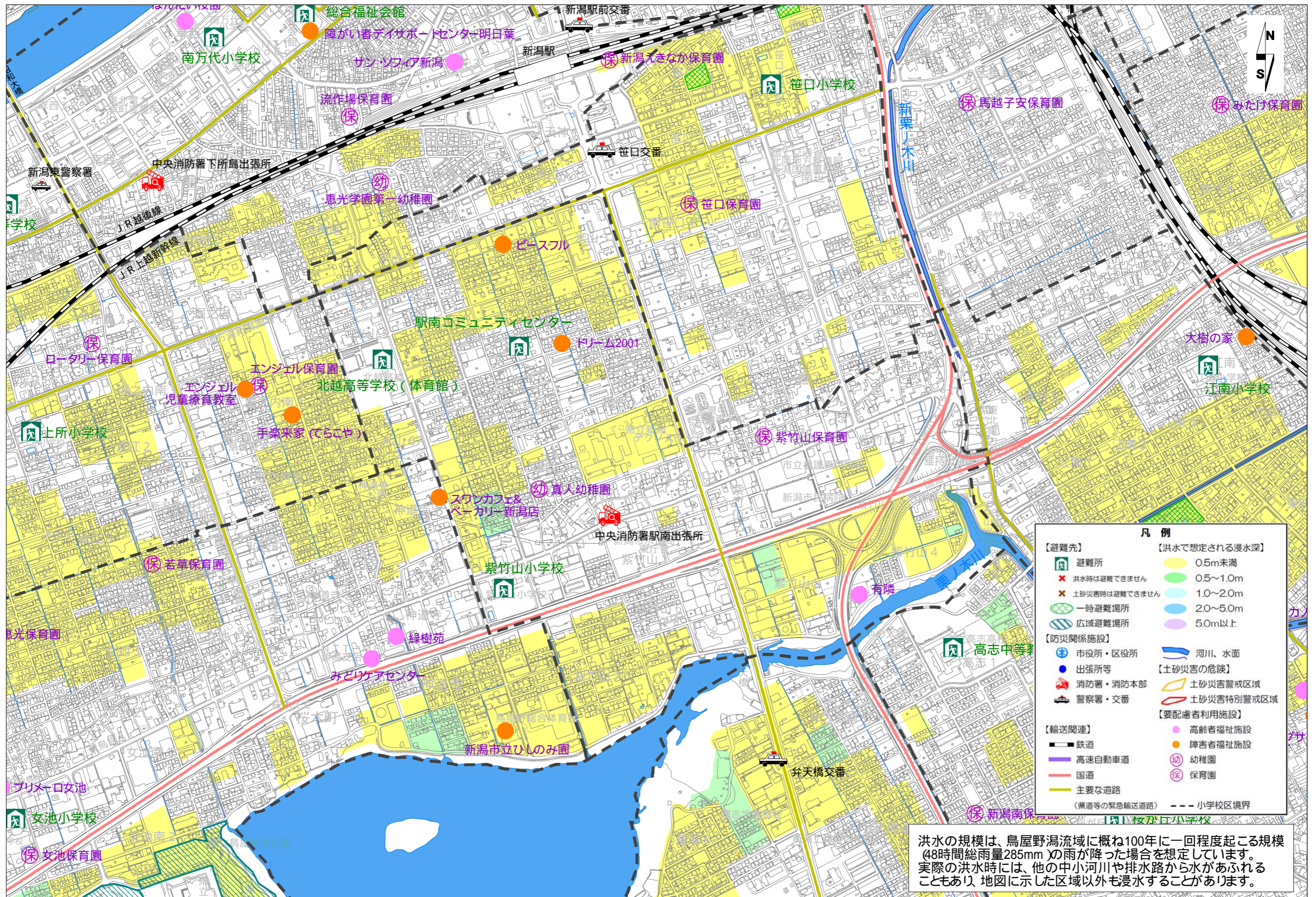


[出典] 基盤の地図 新潟市国土基本図(平成20年,平成25年,平成26年)  
信濃川下流浸水想定区域(国土交通省,平成14年4月30日)



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路）

紫竹山小学校区



【出典】 基盤の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）  
栗ノ木川上流・鳥屋野潟・鳥屋野潟放水路浸水想定区域（新潟県、平成18年8月25日）

0 100 200 400 600 800 1000m